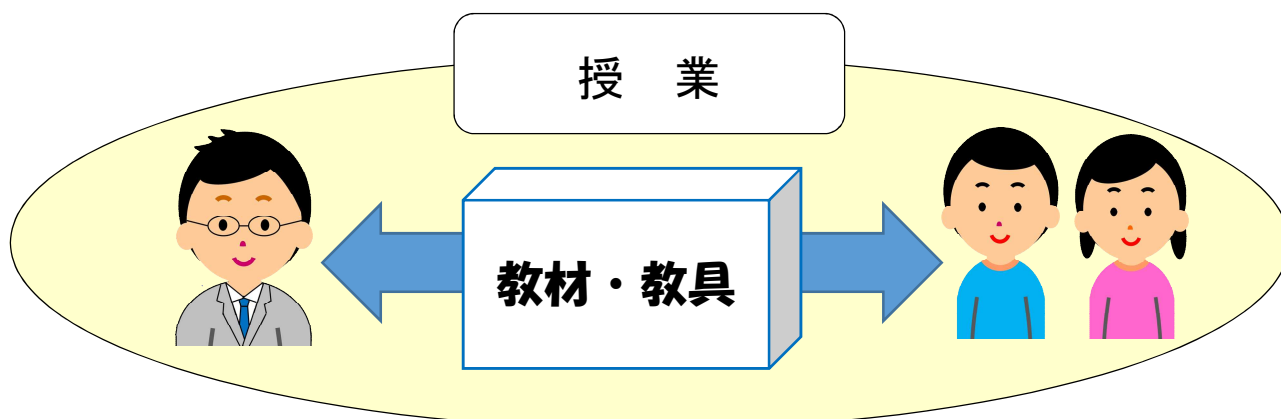


教材・教具の準備について

○教師と児童生徒，教材・教具の関係イメージ



特別支援教育の授業を行う際，教材・教具の工夫が欠かせません。教師が教材・教具を介して，児童生徒との学習ややり取りを行うことで，児童生徒の反応や自発的な行動が見られたり，児童生徒の学習意欲や集中力を高めたりすることができます。また，児童生徒の学習のつまずきを解消する側面もあります。

○教材・教具の種類

- ・ 特別支援教育に関する市販の教材・教具
 - ・ インターネット等を活用し，ダウンロードできる教材・教具
 - ・ 個々のニーズに応じた自作の教材・教具 等
- ※ 活動場所，関わる人，活用する用具・道具等も教材・教具と考えられます。

○教材・教具の準備から改善までの流れ

実態把握

- ・ 児童生徒の姿を思い浮かべ，どんな教材・教具が必要かイメージを持つ。

教材・教具の作成

- ・ 実態把握を基に，教材・教具の工夫や作成を行う。

効果的な活用場面を検討

- ・ 授業の流れをイメージし，児童生徒の反応を予想しながら効果的な活用場面を考える。

情報の共有

- ・ 一緒に授業を行う教員と相談しながら，効果的に活用できるように情報の共有を行う。

反省と改善

- ・ 児童生徒の反応を振り返り，反省を基に改善をする。

効果的な教材・教具を準備するためには，児童生徒をよく知ること（実態把握）が大切です。

